

大会宣言

我が国の人手不足は年々深刻化しており、国を挙げて働き方改革や少子化対策に、より一層力を入れていくことが必要とされている。

特に、建設業においては人手不足が常態化しており、専門工事業においては職人の高齢化や若手不足により、担い手の確保や技術・技能の伝承が深刻な問題となっている。また、人手不足下において、貴重な技能者の育成を担う認定職業訓練施設においても、人口減少、ものづくり分野への就業者の減少により、訓練生の確保が困難な状況にあり、更には資材等物価高騰の影響により、運営が逼迫している。

このような中で、我々職業能力開発関係者は、人材の確保・育成のため、若者が展望を持って働ける魅力ある職場づくりを目指すとともに、ものづくりの魅力発信及び技能伝承活動並びに技能士に対する社会的評価の向上を図っていく取り組みを、より一層推進していくことが肝要である。国においても、将来を見据えた人材・担い手の確保・育成の強化に向けた施策として、下記3点について拡充が図られるよう、本大会を契機に東北一丸となって、関係省庁及び関係機関に強く求めていくことをここに宣言する。

- 1 認定職業訓練費補助金における基準額の増額、または補助率の引き上げ
- 2 同補助金の交付基準の要件緩和(特別加入者・雇用保険被保険者とならない専従者等を補助金交付対象とする)
- 3 公共工事等の入札における評価点に技能士資格を追加

令和6年6月13日

第52回東北職業能力開発促進大会